

—淡路の情報いっぱい！生活創造しんぶん—



月刊

# ポケットあわじ

## 2013年秋 映画と本で出会う淡路島



じえじえっ！  
DDTの粉かけられてる！

ヘリコプターでロケ地に来た  
郷ひろみさん。ヘリコプター  
の強風で学校の隣の家の壁板  
が吹っとんだんですよ！

ロケ地となった旧辰美中学校阿那賀分校の校舎

夏目雅子さん、ほんまに綺麗やう  
たわあ〜。子どもにもわたしら  
にも優しくしてくれてで・・・

ヨレヨレのきたないシャツ着せ  
られるの嫌やったわあ・・・みな  
で逃げたこともあったなあ・・・

↑ 奥野さん

↑ 阿久悠さん

### 目録 瀬戸内少年野球団

### 今語られる撮影秘話

写真提供：阿那賀公民館

淡路を舞台とした映画の代表作と言え、やっぱり「瀬戸内少年野球団」。

作詞家・阿久悠自身の郷里・淡路島での少年時代をつづった同名小説を篠田正浩監督が映画化したものです(1984年製作)。女優・夏目雅子の遺作で、郷ひろみや渡辺謙をはじめとしたそうそうたる俳優陣が演じ、敗戦直後の淡路島を舞台に、初めてする野球に夢中になっていく少年たちと戦争の影をひきずる大人の姿をノスタルジックに描いた作品。南あわじ市の旧辰美中学校阿那賀分校の木造校舎を使って撮影されたこの映画は、製作・上映からおよそ30年経ちますが、今なお心に残っています。その頃を知る人達を訪ねてみました。

聞いた人全員が口をそろえて言ったのは、夏目雅子さんの美しさと心優しい振る舞い。エキストラの阿那賀小学校(当時)の子どもたちにも優しい心配りを忘れなかったそうです。阿那賀小学校の子どもたちは運動場で敗戦の玉音放送を聞く場面や貧しくても元気に走り続ける当時の子どもとして出演。衣装は胸元のゆるんだ汚れたランニングシャツと下駄。DDTの白い粉を頭からかぶせられた場面、暑い中何回も下駄で運動場を走ったことなどが印象に残っているそうです。当時阿那賀少年野球チームでこの映画にでた奥野大輔さん(南あわじ市役所勤務・当時5年生)は、「映画の中の野球場面の指導は、プロ野球のコーチが行い、それと同じ指導

を阿那賀少年野球チームも受けた事が自信につながりチームが強くなった」と懐かしく話してくれました。また、「本当は汚い服を着るのが嫌で、みんなで逃げたら助監督が追っかけてきた」と子ども目線の本音を語ってくれました。

郷ひろみがヘリコプターの爆音とともにさっそうと運動場に現れたこと。そのヘリコプターの強風で学校の隣の家の壁板が吹っ飛んだこと。阿那賀を歩いて出会った人はみんな懐かしく話してくれました。あれから30年経ちましたが、村に突然現れた映画のロケ隊は地域の人々の心に今も強く残っているようです。

応援隊:村上 紀代美・  
坂本 厚子・川原 雅代

取材に協力してくださった地域の皆さん・旅館若潮さん、阿那賀公民館・奥野さん、ありがとうございました。

今月の特集 2013年秋 映画と本で出会う淡路島

P.1 ・瀬戸内少年野球団

P.2 ・淡路島フィルムオフィス

P.3 ・マグニチュード 明日への架け橋

・黒田官兵衛ゆかりの志知城跡

もくじ

P.4 ・読書の秋 本で出会う淡路島

P.5 ・淡路地域交流フェスタ

・いざなぎの丘元気っ子フェスティバル

P.6 淡路文化会館・淡路消費生活センターからのお知らせ

P.7.8 淡路の文化活動・イベント情報



淡路島フィルムオフィスは、2005年10月に設立し、淡路島全域での映像制作を支援しています。映画、テレビ、CMなどの映像作品を通じて、島ならではの魅力を、自信を持って国内外へ発信し、島をあげて淡路島ロケを歓迎、「淡路島」を舞台とするロケーション撮影を全力でサポートしています。今までサポートして公開された映画には、今年公開の「夏の終り」、「BRAVE HEARTS 海猿」、「人間失格」、「火天の城」、実写版「火垂るの墓」などがあります。

今も撮影している作品があるそうですが公開の日が決定するまで秘密だそうです。しかし、エキストラ希望者は登録しておくともメールで連絡があるそうです。普段何気なく見ている淡路島をゆつくりカメラ目線で眺めてみませんか。

応援隊：坂本 厚子・竹代 結・田代 孝久



## 淡路島フィルムオフィス津守さんに聞く

### 淡路がロケ地になった映画あれこれ・・・

えっ！あの俳優さん淡路に来てたん？

#### Episode I

### 夏の終り

～マップ片手にロケ地めぐり～

夏の終り

第三光陽マンションは、旅館として登場。

洲本市役所は、税関・港のシーンで登場。



レトロこみち



駐車場と公設市場の間は、新宿駅高架下として登場。



今年公開の「夏の終り」では、昨年4月末に昭和30年代の町並みや風景を撮りたいとの依頼があり、ちょうど「レトロなまち歩き」のイベントの頃、監督、スタッフが来島。田舎シーンに棚田の綺麗な場所を求め生田をはじめ電車の走っていない淡路での駅舎にみえる場所や洲本市内の路地裏の雰囲気のある場所を探したり島中走ったそうです。早速6月から撮影が始まり、エキストラ約90

人、地元美容師さん数名の協力で朝5時から準備。洲本市役所屋上が神戸の港の出迎いの波止場シーン、市役所と市民会館の外階段が税関脇シーンとして撮影されました。由良湊神社周辺、港橋、路地、現在も営業している淡路市志筑の大众食堂、洲本市本町の喫茶店・・・撮影場所が近くて移動に時間がかからないので2週間かかるところが1週間で撮影がすんだそうです。



#### Episode II

### 海猿

ロケ地は慶野松原

仙崎の背中みえた。かってよかったわあ・・・

「BRAVE HEARTS 海猿」では「対岸の见えない砂浜がないですか」との依頼で慶野松原を案内したところ、沖縄から専門ダイバーが深さや海底を何度も調査したそうです。地元の人からの差し入れやたくさんの協力があり、喜ばれていたそうです。



#### Episode III

### 人間失格

生田斗真主演

ロケ地は津名の土取り場の跡地。

#### Episode IV

### 火天の城

西田敏行主演

ロケ地は野島平林の瀬戸内海を見下ろせる場所。山城が燃えてましたね。



#### Episode V

### 火垂るの墓

実写版「火垂るの墓」のロケ地は、吹上の浜。



灘海岸での撮影



エキストラ・出演者



田中 邦衛さん



緒方 直人さん



薬師丸 ひろ子さん

## マグニチュード 明日への架け橋

阪神淡路大震災の後、映画のほとんどを淡路島で撮影された菅原浩志監督の映画「マグニチュード 明日への架け橋」。大震災を背景に消防隊員の父と子の絆を描いたもので、主な出演者は緒方直人、薬師丸ひろ子、田中邦衛などです。淡路島の各地でも上映されましたので、この映画を見た人もたくさんおられると思います。

撮影場所は、洲本消防署や由良の町、由良漁港、由良中学校、竜宮園跡地、それから南あわじ市の灘海岸などでロケが行われました。消防署での撮影期間は半月くらいだったと思います。撮影されたのは15年前ですが、その時は私の職場でしたので、撮影現場を生で見ることができました。緒方直人はもちろんイケメン、薬師丸ひろ子はとてもチャー

ミングでした。撮影はスタッフも多く、1カットを撮るのにも時間がかかり、映画の撮影ってほんとうに大変だなっていうのが思い出に残っています。

それから、私もエキストラで出演しました。灘海岸の交通事故現場での撮影で「救急隊員」に扮し、リハーサルも含めて10回くらい演技したと思います。台詞もちゃんとありました。一言ですが、「いち、にいの～さん！」です。後で観た映画にはちゃんと自分も映っていて嬉しかったことが思い出されます。すばらしい人間模様が描かれた映画です。約15年前の作品ですが、みなさんも機会があればぜひ観てほしいですね。淡路島の知っている場所がいっぱい出てきますよ。

応援隊：田処 吉久

## 黒田 官兵衛ゆかりの 志知城跡

南あわじ市志知松本



南あわじ市志知松本地区にある「志知城跡」は来年のNHK大河ドラマの主人公黒田官兵衛にゆかりのある地として、注目度UP!

志知城の創築は鎌倉時代の初め。しかし天正9年(1581)羽柴(豊臣)秀吉の淡路攻めの折り、降伏開城し、秀吉の直轄領となります。その後、軍師黒田官兵衛が志知城を預かったとされています。現在城跡は、本丸台もほとんどが農地になり、周りを竹やぶや雑木が生い茂り、構成をうかがい知ることはできません。本丸の北隅が天守台とも櫓台跡とも言われますが判定は困難。堀は古図によると幅15m、南北約130mにもおよび、立派な防備施設だったようです。その堀も、埋めたり溝水路として改修されたりしていますが、城跡の東側にある伊勢明神周辺や松本地区には今も遺存しています。(参考 三原郡史 その他)

この夏、志知城と志知城にまつわる戦国時代の武士や黒田官兵衛を学習し、歴史とふるさとを愛する心を育てようというプロジェクトが生まれました。それが「わんぱく官兵衛隊」(主催 南あわじ市教育委員会 生涯学習文化振興課)

夏休みに志知城や官兵衛について学習し、子ども官兵衛ガイド隊として出陣します。手作りの甲冑に身を包み、出陣する戦場はアジア国際映画祭や、市民祭り、観光行事など。洲本の城まつりにも出陣しました。

そんな子ども官兵衛隊を見かけたら激励を送ってください。また、ぜひ志知城跡にも足を運び官兵衛の夢(野望)に思いを馳せてみてはいかがでしょうか? 応援隊：村上 紀代美

志知城跡案内図



「淡路地域交流フェスタ」は県民交流広場活動について知ってもらおうと毎年開催しています。

今年は10月6日(日)淡路文化会館で開催されました。「いざなぎの丘元気っ子フェスティバル」と同時開催ということもあり、多くの家族連れなどでにぎわいました。晴天の中2000人が来場。会場では、淡路島内各広場の活動パネル展や、フライドポテト、健康ジュース、びわゼリー、とれたて野菜の即売などを行いました。

また、「いざなぎ学園」が出張ブースを出展し、協働イベントを盛り上げることができました。

参加した広場のメンバーらは、一堂に集まって広場同士、また来場者との交流を深めながら、今後の活動の継続に向けて意欲を燃やしてくれたことでしょう。読者の皆さんも機会があれば県民交流広場活動に関わり、地域を盛り上げて行きませんか。



## 淡路地域 交流フェスタ

## いざなぎの丘 元気っ子フェスティバル



多くの方のご来場  
ありがとうございました



10月6日、秋晴れの下のいざなぎの丘元気っ子フェスティバルが開かれました。会場となった淡路文化会館には、淡路人形浄瑠璃の野掛け公演や、さまざまなクラフトが楽しめるブース、焼きそばやかき氷などの飲食販売ブースが立ち並び、たくさんの家族連れで賑わいました。

私は数年前からこの催しに大型紙芝居で参加しています。いろんなブースを見て回る人達に足を止めてもらって「11ぴきのねこ」や「じごくのそうべい」などをみてもらうのですが、その時子どもさんだけでなく親御さんやおじいさん、おばあさんも一緒に真剣なまなざしで見ただけなのがとても励みになっています。

この催しの良いところは、親子だけでなく3世代の来場者が多いこと。竹細工、缶ぽっくり、おりがみなど懐かしい遊びを通して笑顔があふれたふれあいがいっぱい。ぜひ来年は来てみてくださいね。



応援隊 浜田泰美

# 読書の秋 本で出会う淡路島

淡路を舞台にしたお話 読書で堪能してみたいはかがですか？



## お登勢 船山馨

時は幕末、勤王派と佐幕派の対立が厳しさを増し、歴史が大きく動こうとしていた。淡路島の貧しい農家の娘に育ったお登勢は、徳島藩の家臣・加納家に奉公に出た。そこで陪臣・本田



洲本市立淡路文化資料館前のお登勢像

貢に惹かれるが、加納家嫡男に恋慕される。分藩運動に起因する稲田騒動や北海道静内への移住を背景に、時代の流れに翻弄されながらも運命と向き合い、激動する幕末維新期の荒波の中で、愛一筋を貫き通したお登勢の波乱の生涯を描いた、長編歴史ロマンの傑作。

## 蓼喰う虫

谷崎潤一郎



舞台は淡路島。お互いに傷つけず離婚しようとする微妙な夫婦の心理を読み解き、ご主人に尽くす日陰の女性の姿を、操り人形に重ねながら、女性観も語りかける作品。小説の中には淡路島の人形浄瑠璃がでてきます。谷崎潤一郎氏は古典芸能に強い関心を寄せていたようで、この小説からも入れ込みぶりがうかがえる。

また、谷崎潤一郎氏が定宿としていた洲本市「なべ藤」は、現在、海月館の別邸「華海月」として再オープンしている。

## 菜の花の沖

司馬遼太郎

江戸時代の廻船商人である高田屋嘉兵衛を主人公にした歴史小説。



主人公は淡路の貧しい農家に生まれた嘉兵衛という若者。その生まれた境遇は悲惨なものだったが、海の男として身を起こし、ついには当時未開で原住民（アイヌ）が過酷な状況に置かれていた蝦夷（えぞ）を拓いた偉大な商人に成長する。そして、一介の商人でありながら当時一触即発であった日露関係を救うという物語。

五色町の高田屋嘉兵衛公園には、高田屋嘉兵衛のゆかりの地として、歴史文化資料館があります。淡路島の歴史にふれてみたいはかがですか？



『淡路島（あわじしま）の狸の話しってる？

むかしむかし、三熊山（みくまやま）にお城があって、お殿さまがいらっしやったころの話。有名な狸は全部で八びき。一びきずつ人間と同じように名前がついてとき』ということで、伝えられてきた狸のお話。いろいろな本が出版されているので、探して読んでみるのも楽しいかも。

### 八狸の名前 みんなは知ってる？

- ①柴右衛門
- ②柴助
- ③お増
- ④武左衛門
- ⑤柳右衛門
- ⑥川太郎
- ⑦宅左衛門
- ⑧お松

★淡路文化会館からのお知らせ★

# 「いざなぎ学園」大学 入学のご案内

この学園では、おおむね淡路島内の中高年の皆さんを対象とした学習、趣味伸長、仲間作り、そして地域活動の講座を行っています。

※学校教育法第1条に規定する  
大学とは異なります

## 募集開始

平成26年1月8日(水)より  
**オープンキャンパス**  
会場:淡路文化会館

日時:1月8日(水), 1月22日(水), 2月5日(水)  
いずれも 9:30~15:00

内容:1/8「調理、吹き戻し、ヨガ」「三線でつながろう」  
1/22「サークル活動」  
2/5「そば作り、エコ工作、ヨガ」「サークル活動」



絵手紙実習

## 平成25年度「若人の賞」受賞



淡路人形芸舞組  
**武岡智也** さん

淡路人形浄瑠璃後継者団体のリーダーとして公演を通じた魅力発信と後進の指導に積極的に取り組み、文化振興と地域活性化に尽くされました。

【活動紹介】「淡路人形芸舞組」において、イベント・慰問活動・祭礼等で淡路人形浄瑠璃の継承と魅力発信に取り組んでいる。

★兵庫県淡路消費生活センターからのお知らせ★

# 第23回リサイクルセール・イン淡路

日時:平成25年11月23日(土・祝)

10:00(販売開始)~13:00(販売終了)

場所:県立淡路文化会館 中庭及び駐車場



## フリーマーケット

家庭内の不用品・手作りを  
持ち寄り、約80店舗が出店  
します。

(雨天の場合は構成団体のみ実施)



## 淡路のほんまもん! ええもんフェア

淡路島の特産品や特産物を使  
った環境にやさしい商品を  
紹介・販売します。

ぜひご来場下さい♪

兵庫県淡路消費生活センター 商品や契約についてお気軽にご相談ください。

◇消費生活相談・多重債務相談 電話0799-23-0993

9:00~12:00 13:00~16:30(土日祝日・年末年始は除く) (電話受付)



所	イベント	日時・会場	料金・問合せ先
<b>淡路島</b> <b>国営明石海峡公園</b> 〒656-2307 淡路市南鶴崎8-10 TEL 0799-72-2000 FAX 0799-72-2100	コスモスのつみとり体験	11/2(土)～4(月祝) 13:30～15:30 大地の虹花畑ほか	参加費無料 ※お一人様10本まで ※別途入園料、駐車料金必要
	どんぐりクラフト& お絵かき風船	11/2(土)～4(月祝) 10:00～16:00 ビクター棟	・どんぐりクラフト 100円～ ・お絵かき風船250円 ※別途入園料、駐車料金必要
	多肉植物の寄せ植え教室	11/3(日祝)～4(月祝) 10:00～15:00 東浦口ゲート	300円～ ※別途入園料・駐車料金必要
<b>兵庫県立</b> <b>淡路夢舞台温室</b> <b>「奇跡の星の植物館」</b> 〒656-2306 淡路市夢舞台4 TEL 0799-74-1200 FAX 0799-74-1201 10:00～18:00 (最終入館17:30)	あわじ ガーデンルネサンス2013 —篠山藩が守ったお苗菊—	～11/10(日)	大人1200円、 65歳以上(要証明)600円、 高校生600円、 中学生以下無料
	クリスマスフラワーショー 2013 —聖地のクリスマス—	11/16(土)～1/19(日)	大人600円、 65歳以上(要証明)300円、 高校生300円、 中学生以下無料
<b>洲本市文化体育館</b> 〒656-0021 洲本市塩屋1-1-17 TEL 0799-25-3321 FAX 0799-25-3325	淡路吹奏楽団 第35回定期演奏会	11/3(日祝) 14:00～16:00 文化ホール「しばえもん座」	鑑賞無料 【問】090-4436-3395 (服部)
	ジョイフルコンサート2013 混声合唱サンシャイン& コール・アマービレ	11/4(月祝) 13:30～ 文化ホール「しばえもん座」	鑑賞無料 【問】0799-28-0451 (近藤)
<b>洲本市</b> <b>市民交流センター</b> 〒656-0054 洲本市宇原1788-1 TEL 0799-24-4450 FAX 0799-24-4452	第4回市民交流センター 文化祭	11/29(金)～12/1(日) 作品展 11/30(土)クリスマスお茶会 12/1(日)一日体験教室	一部有料 【問】市民交流センター
	開館35周年記念コンサート ラインムジーク2013	12/1(日)14:00～ ビバホール	入場料500円 【問】市民交流センター

<b>淡路人形座 特別講演</b> ・「鳴り物レクチャー」望月太明十郎 ・だんじり唄うたいま専科 ・「生写朝顔日記 深雪関助道行の段」	<b>【日 時】</b> 11/30(土) 18:00～ ※特別公演は未就学児入場不可 <b>【料 金】</b> 無 料 <b>【問合せ】</b> TEL:0799-52-0260(淡路人形座)
--	--

人形浄瑠璃街道推進事業

## 淡路島民俗芸能フェスティバル

淡路島内の各地に受け継がれている

伝統芸能や郷土芸能、創作芸能のステージイベントです。

【同時開催】淡路各地の伝統芸能のパネル展&DVD放映

日 時 11月17日(日) 10:00～15:00

場 所 南あわじ市三原公民館

(南あわじ市三條880)

問い合わせ先 0799-85-1391

(県立淡路文化会館内 淡路島民俗芸能フェスティバル実行委員会事務局)



所	イベント	日時・会場	料金等
<b>淡路文化会館</b> 〒656-1521 淡路市多賀600 TEL 0799-85-1391 FAX 0799-85-0400	<b>徳田壽春 「陶を遊ぶ」</b>	~11/4(月祝) 9:00~17:00 ※県民ギャラリー	鑑賞無料
	<b>第18回スケッチ淡路100景展</b>	11/2(土)~11/8(金) 9:00~17:00 ※展示室	
	<b>淡路人形油絵小品展</b>	11/6(水)~17(日) 9:00~17:00 ※県民ギャラリー	
	<b>津名フォトクラブ展</b>	11/10(日)~17(日) 9:00~17:00 ※展示室	
	<b>全日本写真連盟 淡路支部会員展</b>	11/19(火)~29(金) 9:00~17:00 最終日16時まで ※展示室	
	<b>心をつなごう絵手紙展</b>	11/19(火)~29(金) 9:00~17:00 ※県民ギャラリー	
<b>洲本市民工房</b> 〒656-0021 洲本市塩屋1-1-17 TEL 0799-22-3322 FAX 同上	<b>第18回戸塚刺しゅう展</b>	11/1(金)~4(月祝) 9:00~17:00 最終日は16時まで ※3Fギャラリー	鑑賞無料
	<b>清水流絵手紙 洲本教室作品展</b>	11/15(金)~17(日) 10:00~17:00 初日は13時から 最終日は16時まで ※3Fギャラリー	鑑賞無料
<b>南あわじ市 滝川記念美術館 玉青館</b> 〒656-0314 南あわじ市松帆西路1137-1 TEL 0799-36-2314 FAX 0799-36-5408	<b>吉永邦治展 —東洋へのまなざし—</b>  ギャラリートーク 11/10(日) 14:00~ 講師：吉永邦治先生 参加費無料(ただし入館料必要)	~12/15(日) 9:00~17:00 入館は16:30まで 月曜休館(11/4は開館、11/5 は休館)	大人500円 高大生300円 小中生200円 ※小中生は「ココロン カード」「のびのびパ スポート」利用可 【問】玉青館

**編集だより**

「芸術の秋」、「文化の秋」、「食欲の秋」...

と言われるように秋の表現は数多くあります。今月号のポケットあわじは、秋の夜長に淡路島を舞台にした映画、本などで楽しもうと特集しました。



花と緑とオレンジの自然豊かな淡路島で生まれ育った私ですが、余りにもどっぷりとつかりすぎて淡路島の良さに気づいていないのではと反省しています。この自然豊かな私たちのふるさと淡路島が大いなるやさしさに包まれた大切な場所であることを子や孫たちに気づいてもらえるように、今住んでいる私たちが自然を大切にしながら、人と人との信頼の絆を深めて素晴らしいふるさとを作っていきたいと改めて感じています。ポケットあわじを通して皆様と心が一つになることが最大の喜びです。 応援隊 廣岡ひろ子

「ポケットあわじ」は、毎月3,000部発行し、応援隊の手により、島内各市の庁舎・公民館・商業施設など約240カ所に無料配布しています。淡路文化会館のホームページでご覧になると、カラー版でお楽しみいただけます。読者の皆さまからのお便り、情報をお待ちしています。

(発行) 淡路生活創造応援隊  
淡路文化会館

〒656-1521 淡路市多賀600

TEL 0799-85-1391

E-mail a-pocket@hyogo-ikigai.jp

